

営農情報（号外）

第3号 平成25年7月17日発行

水稻栽培情報(7月号)

福岡大城農業協同組合
南筑後普及指導センター

梅雨明けが7月8日頃と平年よりも10日程度早く、倒伏の発生した平成23年産と同じ梅雨明けとなりました。梅雨明けが早いと、節間伸長期の日照時間が長いこと、地力窒素の発現が早くなることから、稈長が伸びやすくなります。（特に「元気つくし」）そのため、以下の点に注意して栽培管理を行いましょう。

1 水管理

- 倒伏防止のためには、水管理がもっとも重要です。必要茎数（20～25本/株）が確保できしだい、早めに中干しを実施します（目安は田植後1ヶ月）。
- 中干し後は、間断かん水を行います。
- その後穂ばらみ期～穂揃期にかけては、最も水分が必要な時期なので水を保ちます。
- 高温障害回避のため、用水が豊富にある場合は、出穂後20日間程度かけ流しを行い、温度を下げましよう。夜温を下げるために、夕方、ほ場の水を入れ替えるのも効果的です。

2 穂肥

倒伏防止のためには、早期の穂肥は禁物です。穂肥時期の目安と施用量は以下のとおりです。それぞれのほ場で幼穂長や葉色を観察し、穂肥時期や量を決定します。

品種	第1回目穂肥施用時		10a当たり施用量(kg)	
	穂肥時期の目安	幼穂長 (mm)	1回目	2回目
元気つくし	8/5頃	5	15	10
ヒノヒカリ	8/12頃	3～5	20	なし
ツクシホマレ	8/13頃	2	25	20

※1 穂肥2回目は、1回目の約1週間後に施用します。

※2 「元気つくし」は良質米ごよみの穂肥時期が間違っています。遅れないように施用しましよう。

3 病害虫防除

現在のところ、ウンカ類の飛来は昨年よりは多く、平年並みの状況です。

基本防除は、下表のとおり、盆ごろに行います。

品種	防除時期	薬剤	使用量、希釈倍数
全品種	8月13 ～20日	アプロードロムダンモンカットF粉剤DL	4kg/10a
		アプロードロムダンモンカットエアー	750倍

注)ウンカ等への効果を高めるため、防除作業はほ場に水をためた状態で行います。